

—なぜ、いま、現場発信のDXが重要なのか—

第1回 モノづくり

現場発信のDX大会

現場のDX推進を加速させる仕組みやDX成功事例が一堂に集結！

2025.2.26(水)
10:00-16:30

会場：ポートメッセなごや

(名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地)

製造業における現場主体のDXの
取り組みを多角的に深掘りする1日！

特別講演

笑顔を繋げる現場中心のDX

～自分たちの手で進める現場主義のDXへ～

トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow

(公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会長)

河合 満 氏



実践DX講演1

デジタルでリアルをリアルタイムに改善する
～製造現場でDXが根付く人中心の職場運営～



トヨタ自動車株式会社
田原工場エンジン製造部
第2鋳造課 課長

小金澤 孝之 氏

実践DX講演2

身の丈DXによるスマート工場への変革
～レトロフィットとスモール投資で最大の効果を生み出そう～



アイシン九州株式会社
DX推進室
室長

熊谷 隆之 氏

DX改善発表企業一覧

(五十音順)

可視化system構築による品質不良撲滅

ジヤトコ株式会社

コンパクトDXへの取り組み

～簡単で安価なシンプル兆候管理の導入～

トヨタ自動車東日本株式会社

溶射電源の常時監視で稼働率向上

日産自動車株式会社

※プログラムは調整・変更する場合がございます



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

普及推進部 TEL : 0120-451-466 (または03-6865-6081)
E-mail : event@jipm.or.jp

●—● なぜ、いま、現場発信のDXが重要なのか —●



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
会長 河合 満
(トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow)

近年、日本のモノづくりは、IoT・AIなどの進化によりDXが急速に進展しています。

しかし、市販ソフトウェアを導入しても、費用対効果のバランスがとれないことや、過剰な機能が備わっているケースがあります。

DXにおける重要な点は、製造現場を熟知した自分たちの手で、現場のデジタル化を進めることです。市販ソフトウェアに頼るばかりではなく、現場の知恵とくふうを取り入れ、**実際の現場の困りごとを中心としたデジタル改善「現場発信のDX」が大切**です。また、デジタルに強い若手と、現場を熟知したベテランとのコンビネーションが重要です。これが企業力であり、差別化となります。

さらに、現在は、各々のDXの取り組みを相互に繋げて、面で広げていく段階に達しています。職場を超え、海外工場ともデータと人が繋がるネットワークが実現しつつあります。

設備管理の分野においてもDXの進展は例外ではなく、むしろ、高度化する設備が増加するなか、その重要性はさらに増しています。新技術を活用しながら、設備の兆候管理が進み、不良や故障のない生産ロス・ゼロの実現が近づくでしょう。

※「輝2024」より抜粋

●—● 本大会開催の趣旨 —●

製造業における現場主体のDXの取り組みを共有し、モノづくりにおける次世代の現場の改善活動を推進することや、今後、現場改善でも必要不可欠となるデジタルスキル・ツールについての活用方法などの理解を深めることを目的として開催いたします。

ぜひとも、現場におけるDX推進のためのリスクリングの機会や組織としての仕組みづくり、自職場におけるDX推進の気づきの一助として、お役立てください

●—● 講演・発表のキーワード —●

デジタル人財の育成

アプリの内製化

身の丈DX

予知保全のIoT化

レトロフィット

スモール投資

Raspberry Piの活用

見える化

人が中心のデジタル改善

膨大なデータの有効活用

ペーパーレス化

組織横断のデータ共有

時間	講演・発表情報	
9:30▶	開場・受付開始	
10:00▶10:05	開会のあいさつ	
実践DX講演1	10:05 ▼ 11:00	<p>デジタルでリアルをリアルタイムに改善する ～製造現場でDXが根付く人中心の職場運営～</p> <p>トヨタ自動車株式会社 田原工場 エンジン製造部 第2铸造課 課長</p> <p>小金澤 孝之</p>
	<p>製造現場で生じる手書き、グラフ化、印刷などのムダ・ムラ・ムリ。それらを省くことで、改善の正味作業を増やし、リードタイム短縮するために、内製のアプリを職場内に根付かせようとした仕掛けや進め方を事例とともに紹介する。</p>	
11:00▶11:10	休憩	
実践DX講演2	11:10 ▼ 12:05	<p>身の丈DXによるスマート工場への変革 ～レトロフィットとスモール投資で最大の効果を生み出そう～</p> <p>アイシン九州株式会社 DX推進室 室長</p> <p>熊谷 隆之</p>
	<p>レトロフィットとスモール投資で最大の効果を生み出そうをスローガンのもと、自社に合ったスマート工場を目指し、可視化することが目的ではなく、改善の畑を見つけるツールとしてデータを活用している。素早く効果を刈り取るため、安速単で推進し飛躍的な生産性の向上を図った活動を紹介する</p>	
12:05▶13:05	昼休憩(お弁当のご提供がございます)	
DX事例発表1	13:05 ▼ 13:30	<p>可視化system構築による品質不良撲滅</p> <p>ジヤトコ株式会社 八木工場 工務部保全技術課 工長</p> <p>片山 真也</p>
	<p>8の字展開法を活用し品質トラブルの発生源をつき止め解決に至り再発防止をする為に管理基準を設定するが持続可能な管理に改善する必要がありDXを取り入れたい所だが半導体の影響で既存のシステムが使えず自前でラズベリーパイを使いシステムを構築して管理を強固な物にした事例を発表する</p>	
DX事例発表2	13:30 ▼ 13:55	<p>溶射電源の常時監視で稼働率向上</p> <p>日産自動車株式会社 横浜工場 車両生産技術開発本部 プラントメンテナンスエンジニアリング部 課長代理</p> <p>大橋 巨樹</p>
	<p>シリンダーブロックボア表面の溶射加工機において、溶射電流の波形監視を常時行うことで、溶射品質の維持・チョコ停削減などにより設備稼働率の向上に貢献した事例を発表する</p>	
DX事例発表3	13:55 ▼ 14:20	<p>コンパクトDXへの取り組み ～簡単で安価なシンプル兆候管理の導入～</p> <p>トヨタ自動車東日本株式会社 岩手工場 工務部第2設備課ボデー設備係</p> <p>高瀬 翔</p>
	<p>コンパクト車を生産する工場としての工程作りと、その設備の課題に対し故障の未然防止と適切な保全タイミングを掴む為、自分達で「簡単で安価」なシンプル兆候管理を導入した事例を発表する</p>	
14:20▶14:30	休憩	
特別講演	14:30 ▼ 15:30	<p>笑顔を繋げる現場中心のDX ～自分たちの手で進める現場主義のDXへ～</p> <p>トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow (公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会長)</p> <p>河合 満</p>
	<p>今、日本のモノづくりは、DXの急速な導入・展開により大変革を迎えている。DXの活用事例として、メーカーに頼るばかりでなく、現場の知恵とくふうを取り入れた、言わば「現場発信のDX」の取組みが見られるようになってきた。このDXに関わる現場の取組みから製造業の今をお話させていただく</p>	
15:30▶15:45	交流会場移動・休憩	
15:45▶16:30	交流会	
16:30	閉会	

申込規定・ご案内

参加料（税込み）

会員価格※	33,000円/名
一般価格	44,000円/名



- 参加料にはテキスト（資料）代・昼食代が含まれています

- ※ 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員）の会員であることが必要です
 - ※ 会員かどうかご不明な場合は、下記WEBサイトにてご確認ください
 - ・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 <https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>
 - ・一般社団法人 日本能率協会 <https://list.jma-member.com/>
- 会員以外の方は、この機会に是非当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込み・支払い方法

お申込みフォームからお申込みください

<https://info-jipm.jp/event/>



- HP記載の「免責事項・個人情報取り扱い」にご同意のうえ、上記URLにアクセスいただき、お申込みください
- 参加申込みは、大会10日前までをお願いいたします
それ以降のお申込みは、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などのご用意ができないこともございますので、お早めにお申し込みください
- 開催日2週間前より派遣窓口ご担当者あてに「請求書」をメールにて送付いたします
3月末までに記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- 開催日2週間前より参加者ご本人様あてに「受付票」をメールにて送付いたします
お申込み後、参加予定者が参加できなくなってしまった場合は、代理の方が参加ください。小会への連絡は不要です
代理参加が不可能な場合は、下記規定によりキャンセルを申し受けます
- キャンセル規定
大会の開催当日～7日前の参加取消し : 参加料全額
※キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします
<https://info-jipm.jp/contact/>（セミナー・イベント情報>お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ）

お問い合わせ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所
〒450-0001 愛知県名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル 21階
TEL : 0120-451-466（または03-6865-6081） E-mail : event@jipm.or.jp



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance